

「ホームページ本院患者さん向け情報公開文書」

『^{ふくじんしゅよう}副腎腫瘍に対する^{ふくくうきょうかふくじんてきじょじゅつ}腹腔鏡下副腎摘除術後の^{じんきのう}腎機能の変化に関する後ろ向き観察研究』についてのご説明

1. はじめに

副腎腫瘍（ふくじんしゅよう）に対する腹腔鏡下副腎摘除術（ふくくうきょうかふくじんてきじょじゅつ）は標準的な治療方法の一つです。副腎腫瘍のうち、原発性（げんぱつせい）アルドステロン症は高血圧（こうけつあつ）の原因となる疾患で、この手術をうけた方では、手術の前と後で腎臓（じんぞう）のはたらきに変化を生じることが最近注目されていますが、詳しいことについてはまだ明らかとはなっていません。

2. 研究対象となる方

当科にて副腎腫瘍（ふくじんしゅよう）のために「腹腔鏡下副腎摘除術（ふくくうきょうかふくじんてきじょじゅつ）」を受けられた方の臨床情報を検証します。このうち、原発性（げんぱつせい）アルドステロン症の方と、その他の病気の方の状況を比べます。

この研究の対象となるのは、平成13年（2001年）1月1日から平成27年（2015年）12月31日までに札幌医科大学附属病院で副腎腫瘍（ふくじんしゅよう）に対して腹腔鏡下副腎摘除術（ふくくうきょうかふくじんてきじょじゅつ）を受けられた方で、全部で120症例の登録を予定しています。

3. 検査の追加や費用負担などについて

日常診療以外の余分な検査や負担、費用は発生しません。

4. 個人情報の管理について

本研究では個人情報の漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データのデジタル化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取っています。匿名化しているので患者さんの個人情報が、外部に漏れることはありません。また、集められたデータは、施錠した部屋で厳重に管理します。本研究の実施過程およびその結果の公表（学会や論文など）の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません

5. この研究に診療データを提供したくない場合

患者さんのなかでこの研究に診療データを提供したくない方は、2019年3月31日までに下記までご連絡下さい。あなたに関わる研究内容は破棄され、診療記録などもそれ以降は

研究目的に用いられることはありません。ただし、御連絡をいただいた時点で既に研究結果が論文などに公表されている場合や、研究データの解析が終了している場合には、研究結果等からあなたに関するデータを取り除くことはできず、研究参加をとりやめることが出来なくなります。

6. 研究期間

研究期間は病院長承認日～2019年3月31日までです。

7. 利用する情報

利用する情報は、診療録に記載されているもので、年齢、性別、手術前の病期診断、病理検査結果、手術後の治療内容です。

8. 研究責任者

札幌医科大学 泌尿器科 田中俊明

9. 医学上の貢献

研究成果は原発性アルドステロン症をはじめとした副腎腫瘍（ふくじんしゅよう）に対する適切な手術方法、術後の管理方法の開発の一助になり、患者さんの治療と健康に貢献できます。

10. お問い合わせ先

連絡先 〒 060-8543 札幌市中央区南1条西16丁目

札幌医科大学附属病院 泌尿器科

研究責任者：田中 俊明

研究分担者：舩森 直哉

TEL：平日 011-611-2111 内線 34720 (教室)

夜間・休日 011-611-2111 内線 34780 (4階南病棟)

このお知らせは、「文部科学省・厚生労働省 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲載しています。